

第50回 在京白聖会総会・懇親会開催概要

日時: 5月19日(土)
講演会・総会 15時～/懇親会 17時～
受付開始 14時30分より
場所: ホテル ラングウッド ※昨年の会場ではありません。
(〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 5-50-5)
参加費: 一般 8,000円/学生・院生 1,000円
(在京白聖会平成30年度年会費 2,000円は別途)
●在京白聖会総会・懇親会への申し込みは
Webやスマホからできません。
<https://goo.gl/forms/Slm7OWHF>
TiH6h74i2
●講演会は、別紙案内をご参照ください。



ホテルラングウッド 交通アクセス



最寄駅

- ・JR山手線・京浜東北線・常磐線、京成線 日暮里駅南口改札 徒歩1分
- ・日暮里駅南改札口には、エスカレーターやエレベーターの設置がありませんので、大きな荷物がある場合には東口をご利用ください。
- ・日暮里・舎人ライナー 日暮里駅 徒歩3分。



総会風景

プレ・イベントとして昨秋より連続開催中の「先輩を囲む会」もその一環で

会を担う若い世代の流れやうねりと、これまで在京白聖会を築いてこられた先輩方の厚みや重みを架橋し、様々な化学反応を起こしたいと考えています。

第50回在京白聖会総会・懇親会を、5月19日(土)、日暮里のホテルラングウッドで開催します。幹事は昭和61年卒が務めます。昨年度までの会場が参加者の増加に伴い手狭となったため、会場を変更しました。新会場の確保に当たっては、昭和62年卒の高林浩司さんにご尽

力いただきました。心より感謝します。昨年の第49回では、幹事を担当された昭和60年卒の先輩方が様々な新機軸を打ち出し、多くの若い同窓生を呼び込み画期的な会にしてくださいました。60年卒の先輩方が開拓された、これからの在京白聖



再会と新しい出会いが魅力

在京白聖会
2018 総会在京白聖会—大人の文化祭—
5月19日(土)ホテルラングウッドで開催

在京白聖会報

第44号

平成30年3月17日

発行

岩手県立盛岡第一高等学校在京同窓会

在京白聖会

事務局長 藤井則夫

(事務局)

〒143-0015 東京都大田区

大森西 2-17-4-201

TEL (03) 6404-6379

FAX 直通 (03) 6404-6379*00

E-mail: hakua_office@pmp-jp.com

(http://www.hakua.org/tokyo/)

題字: 浅沼 一 道



昨年の懇親会風景

す。今回のテーマは「在京白聖祭—大人の文化祭—」です。文化祭といえは学びと遊び。5月19日を学びと遊びの融合した一日とし、ご参加いただいた皆さまに大いに楽しんでいただくとともに、目に見えぬ何かをそれぞれお持ち帰りいただきたいと考えています。講演会ではパネルディスカッションを行います。懇親会では歌や踊りのステージの他、展示やデモなどのブースを設置します。また、参加者同士が新たに出会い、積極的に交流していただけるような仕掛けも考えています。多くの皆さまにお越しいただけることを、幹事一同、お待ちしております。(S1卒幹事団)

「在京白聖会50年史」エッセイ募集

本年創立50年を迎える在京白聖会は、今秋「在京白聖会50年史」を刊行します。この「50年史」へのエッセイを募集します。振るってご応募ください。詳細は左記の通りです。

〈エッセイ募集要項〉

- 内容: 在京白聖会や母校盛岡一高在学中の思い出、エピソードなど。エッセイの「題」を入れ、顔写真を添付のこと。
- 字数: 写真無しの場合は1200字以内。写真付き(顔写真以外の写真は2点以内)の場合は800字以内。

※字数オーバーの場合は編集委員会において字数調整をします。また原稿の誤字脱字、事実誤認等は修正させていただきます。ご了承ください。

- 着信確認: 編集委員会事務局より返信します。
- 締め切り: 平成30年5月31日(木)厳守。原稿は郵送(消印有効)、またはメール添付。

○送り先: 「在京白聖会50年史編集委員会事務局」岩澤新治 (S45卒) 〒262-0865 藤沢市円行1868-11D203

(E-mail)

hakujou45@gmail.com

お願い

同封の振替用紙にて平成30年度年会費2000円のお振込をお願いします。お振込はなるべく、窓口ではなくATMをご利用下さい。

HOT TOPICS

「先輩を囲む会」(第1・5回抄録)

2017年9月より、「第50回在京白聖会総会」のプレイベントとして、担当幹事学年のS61卒が運営しているトークショー形式の交流会。毎回ゲストとして先輩をお迎えし、そのヒストリーをお聞きするというもの。仕事の話はもちろん、その業界裏話、学生時代の武勇伝など内容も多彩。2018年2月現在で6回を数える。

●先輩を囲む会を実施して

「新春特別対談『先輩を囲む会』を語ろう」より

■去年の総会では、S60年卒の先輩方が、空前の規模で平成卒の若い同窓生を呼び込んでくださり、まさにエポックメイキングな総会となりました。そんな中、われわれのミッションとしては、まず、その潮流を途切れさせないことだと思います。一方で、奇しくも50回の節目にあ

たっているのです、これまでの在京白聖会、白聖のコミュニティを築いてこられた先輩方に敬意を表し、その思いを受け止めるべきだとも思います。両者を架橋し、在京を含めた白聖の「温故知新」を体現するのがわれわれS61卒の立ち位置だという理解です。今やっている「先輩を囲む会」も、それを具体化したものだといえます。

■在京白聖総会では、これは「人材の宝庫」だと実感しました。ただ、数時間という限られた時間の中で、なかなか突っ

込んだ話まではたどりつけない。「自分一人でも、改めて話を聞きに行きたいな」という思いが、「だったら、声かけてみ

んなで集まって話を聞けばいいんじゃないか」となり、それが「先輩を囲む会」という形になりました。

■おかげさまで、会には毎回20名前前後の方が来てくださり、年次も、平成卒の若い皆さんや現役の大学生の参加者もいて、幅広い世代が集いました。会を重ねるごとに、いろいろな方から

「いい企画だ」とお褒めの言葉や激励もいただいている、本当にありがたいことです。当初から反響があると思っていただけではないので、企画・運営する側として、大いに勇気づけられています。(S61卒 及川謙・小野寺誠・久保健一・藤澤真)

〈第1回 及川昭伍さん

S25卒

元国民生活センター理事長

■日時：2017年9月16日④

■会場：文京区役所



及川さんからは、戦中・終戦直後の激動の時代を過ごした盛岡中学(盛岡高)時代、白聖同期が10人入学して「最大派閥」となった東北大学法学部時代の思い出を中心にお話していただきました。その後のQ&Aでは、官僚世界の「学閥」についてなど、「直球質問」にも、ど真ん中の豪速球で返していただきました。

及川さんが結びの言葉としたのは、日本の民藝運動の先駆者、柳宗悦(1893-1961)の言葉でした。

「見て知りソ 知りテナ 見ソ」(ものごとは、見てから知るべきであって、知ってから見てはいけない)といった意味のようです。柳氏は、及川家が盛岡で営んでいた盛久旅館(民藝旅館だった)に昭和28年ごろ滞在したことがあるそうです。

及川さんは、名もない民衆がつくりだした「日本の本物の美」を見抜いてその保存を訴えた

柳氏の精神の賛同者であることが分かりました。とても深い言葉だと思いました。(久保健一)

〈第2回 鈴木文彦さん

S40卒 元文藝春秋「Number」

「オール讀物」編集長

■日時：2017年10月21日④

■会場：新宿区立地域センター



鈴木さんのお話は、司会藤澤貢君のインタビュート、折々の参加者からの質問に答える形で進みました。野球少年だった中学時代から一高入学にかけての話を皮切りに、倉庫番で始まった新入社員時代や世評高い雑誌「Number」にまつ

わる話、文芸春秋の社風や文化を巡って、さらには編集者として、曲者 五味康祐氏ら作家との関わりについてなど、広範に及びました。

鈴木さんのお話からは、常に変わらぬ真摯なお人柄と、その時々を対象に情熱を持って向き合ってきた姿勢の正し

さが伝わってきました。一つ一つのエピソードについて、記憶を紐解き、状況や心境、五感のとらえたものに至るまでを正確に語ろうとする、「描写への意欲」でも言うべきものは、さすがに「名編集者」と謳われた鈴木さんならではの、あらためてうならされました。(及川謙)

〈第3回 及川孝信さん

S60卒 次世代リレーランニング

クラブ「K&A」代表

■日時：2017年11月11日④

■会場：新宿区立地域センター



ゲストは、南半球ニュージーランド(NZ)で教育事業を興したトニー(TONY)こと、及川孝信さん。「ニュージーランド社会から見るとツッポン」働き方、教育、家族、公共」をテーマに、及川さんが現地での当たり前にしたNZの教育改革、NZ流動き方などについて聞きました。及川さんを含め15人のゼミナール形式で、参加者との間で、白熱した質問・意見が飛び交いました。

それにしても、及川さんのプレゼンは圧巻でした。特に、幅6メートルほどのホワイトボードにキーワードを書き込みながら、ボディランゲージと豊かな顔の表情を駆使した説明は、日本ではあまりみかけることのないもので、とても新鮮でした。



第1回 先輩を囲む会



第2回 先輩を囲む会

平成29年12月11日(月)～16日(土)
会場：文房堂 4階ギャラリー
(神田駿河台下)

2017 白堊芸術祭

〈出展リスト〉



12月14日、「歌の祭り」



渡辺克巳さん(写真家・S35卒)のコーナー



12月16日、白堊芸術祭最終日に集まった皆さん

「白堊芸術祭」10周年、盛大に開催

10周年の節目を迎えた「白堊芸術祭」。家族づれで来場されたり、会場で待ち合わせて同期会や忘年会を企画するなど、在京白堊人の年末の風物詩としてすっかり定着しました。会員相互の新しい交流の輪を拡げる場として、これからも多くの会員の皆様のご出展、ご来場をお待ちしております。



会場設営風景 (2017.12.10)



宮沢賢治朗読と 五行歌展示コーナー

●五行歌
星邦彦 (たいてんち・S36卒)
稲垣裕雄 (伊奈裕・S38卒)
二宮まゆみ (ろろち・S42卒)
山田武秋 (S42卒)
村谷 尚 (S54卒)
青山すみれ (白堊歌会会員)
●宮沢賢治
「黄いろのトマト」朗読
野口田鶴子 (S40卒)

◀写真五行歌展示コーナーの前で朗読をする野口田鶴子さん



▲西村和明 (S45卒)
〈回廊に佇む少女〉



▲三浦千波 (S50卒) 〈北上川〉



▲福田 隆 (S49卒) 〈曼珠沙華〉



▲坂本 務 (S44卒)
〈港町のスケートリンク〉



▲及川昭伍 (S25卒)
〈宇宙—三彩花入—〉



平野恵子 ▶
(S53卒)
〈風〉



▶千葉祐治 (S41卒) 〈ゆうやけ空〉



▲伊東明子 (S50卒)
〈車中から…東北自動車道〉



▲村上忠司 (S32卒) 〈朝練〉



▲藤原則子 (S51卒) 〈スノーベリー〉



▲菊池雅子 (S44卒) 〈誓いの日〉



▲及川 謙 (S61卒)
〈クロス・カントリー・ロード〉



▲伊藤公雄 (S34卒) 〈静物〉



▲橋本時浩 (S53卒) 〈珊瑚島〉



▲柳内久俊 (S43卒) 〈わが町・宮古〉



▲柏木宣郎 (S36卒)
〈安曇野・初夏の清流〉



▲古座野郁子 (S32卒)
〈「里山ガーデン」横浜・ズーラシア〉

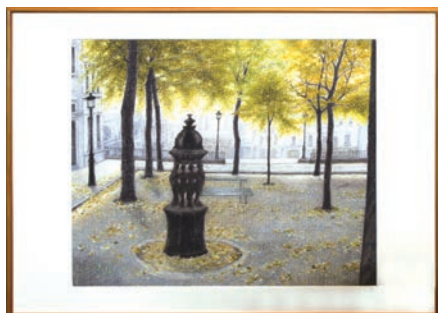


▲間瀬隆男 (S36卒)
〈和 & 和而不流〉



▲森 豊彦 (S40卒) 〈二刀流〉

▲牧洋一 (S56卒)
〈晩秋の霧ヶ峰へ
北アルプスを臨む〉



▲南館英孝 (S36卒)
〈落葉の辻公園〉



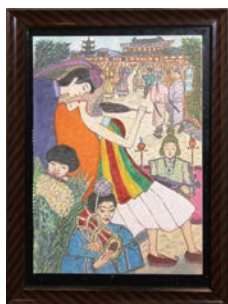
▲佐々木美枝子 (S43卒)
〈花の女王〉



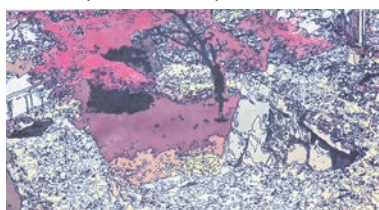
▲村野井徹夫 (S35卒) 〈秋〉



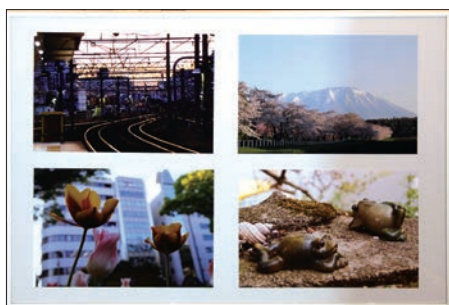
▲小原隆史 (S41卒) 〈晩秋の造形〉

▲馬場 信 (S41卒)
〈雲海に沈む羅臼と国後島〉▲渡辺克巳 (S36卒)
〈新宿(人物) 宣伝マン
1968年撮影〉▲戸田忠祐 (S20卒)
〈原爆遺産 ケロイドドーム1〉▲伊藤 総 (S55卒)
〈ウェルカムボード〉▲紀 章 (S56卒)
〈Donald's Air Force One〉▲戸田 純 (S48卒)
〈cat cat cat〉▲村谷 尚 (S54卒)
〈万葉異聞〉

〈五行歌コーナー〉

▲戸澤 聰 (S40卒)
〈甲子園〉▲玉澤健児 (S43卒)
〈タイ・シミラン諸島沖のマンタ〉

▲菊池輝彦 (S38卒) 〈晩秋の不来方城〉



▲佐々木宏文 (S58卒) 〈無題〉

▲畠 順一郎 (S41卒)
〈古希同窓会キャンプテント前の演奏会〉▲吉田春雄 (S38卒)
〈慕情〉



▲佐藤法雄 (佐藤容齋・S50卒) 〈龍翔鳳舞〉



▲國分智子 (S32卒) 〈風信帖空海〉



▲浅沼榮一 (浅沼一道・S27卒) 〈敬業樂群〉



▲武田夏実 (武田素虹・S53卒) 〈愛〜 Love with my heart 〜〉



▲晴山 康夫 (S45卒) 〈竹〉



▲辻田よね子 (辻やのか・S55卒) 〈Snow Blanket〉

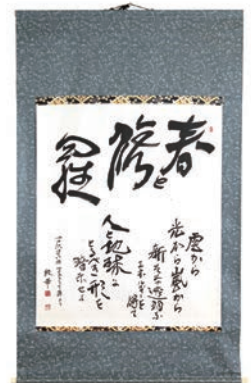
▲牧 理恵子 (S56卒) 〈大海の〉



▲藤澤 貢 (S61卒) 〈写日記・2017-〉



▲三浦千江美 (S53卒) 〈積愛成福〉



▲坂上洋子 (綾華・S40卒) 〈春と修羅〉

▲水原 滋 (S50卒) 〈HAKUART2017〉



▲八重樫誠司 (S53卒) 〈Red window〉

▲田部井恭子 (S34卒) 〈バッグ&マフラー〉



▲宮野谷 篤 (S53卒) 〈鳥羽の朝焼け〉



▲及川宣幸 (S42卒) 〈空ーブラックホールでもあり ホワイトホールでもある〉

▲坂本美枝子 (S45卒) 〈クリスマス飾り〉



▲岸田百合子 (S32卒) 〈ナマケモノ 3態〉



▲毛利洋子 (S41卒) 〈心の歌〉

(※2面から続く)

NZの教育改革は1989年、財政危機に背中を押されるように始まったそうです。Changeable(変革可能)でFlexible(柔軟)な学校教育、キャリア教育の道筋は、驚くべきものでした。とりわけ子を持つ親の参加者のみなさん、かなりインパクトのある魅力的なものに映ったようでした。

(久保健二)



第3回 先輩を囲む会

第4回 宮野谷篤さん

S53卒

日本銀行理事

日時：2017年12月2日④

会場：新宿区庁地域センター



日本銀行理事として日本の金融システムの安定に尽力される傍ら、多彩なご趣味をお持ちで、多方面にわたるお話は聴衆を惹きつけてあつという間の1時間でした。

▼第1部：日本銀行でのお仕事



第4回 先輩を囲む会

日本銀行が金融システムのなかで果たしている役割や、そのなかで宮野谷さんがキャリアを通して取り組まれてきたことをお聞かせいただきました。

▼第2部：釜石での子供時代

釜石の海岸の情景が目につくお話をしたが、このころからマージャン、フルート、悪さ(?)など他方面に興味の幅を広げられます。

▼第3部：一高生活

釜石二中から一高に入ったときの驚きは私にも大いに共感しました。重畳拳部での新人戦優勝や練習に励んだ活動秘話は、聴衆一同、部は違えど何か懐かしさを覚えたのではないのでしょうか。

▼第4部：趣味の世界

仕事人間だった宮野谷さんが、趣味の世界に入りはじめたのは日銀NY事務所勤務の頃です。修理、庭いじり何でもできる隣の家のおじさんを目の当たりにして、ガーデニングを

始めました。以後、多彩な趣味の世界が広がっていくきっかけとなります。

宮野谷さんと今回の囲む会を通じてお話をさせていただき、ワークライフバランスの見本のような方なのだと思います。印象的なキーワードは「楽しい」。多方面に興味をもち、それをどんどん行動に移す。楽しんで取り組まれているので、それがストレス解消にもつながり、生きがいにもなる。宮野谷さんを目標にしたいなあ、と思った面々も少なくなかったと思います。(小野寺誠)

第5回 金野索一さん

S59卒 NPO法人エドテック

バブル代表理事 日本政策学校校長

日時：2018年1月20日④

会場：文京区肥後細川園松麓閣



多くの政治家を輩出する「日本政策学校」の学長、多摩大学大学院特任教授など多彩な肩書を持つ金野さん。今回は、代表理事を務めるNPO法人「エドテック・グローバル」が取り組む、「ICT(情報通信技術)を活用した平和実現」構想をテーマにお願いしましたが、話はさらに、「日本人は、世界をよくするため、どんな特性を発揮すべきか」や「AI革命時代を生き抜くためのヒント」といったところまで広がっていき、さらに知的興奮に満ちた話になりました。



第5回 先輩を囲む会

話題は、「世界の紛争・飢餓をなくす試み」から、来るべき未来を我々はどう生き抜いていけばいいのか、というところまで広がり、その後、場所を変えて行った懇親会まで、白熱した議論が続いていきました。懇親会では、金野さんから、「エドテック・グローバル」が近く、学校運営に関係したクラウドファンディングを実施することも発表されました。

また、今回の「囲む会」では、カゼのため出席できなかった2人が「ビデオグループチャット」を活用して、自宅から金野さんのレクチャーを視聴することができました。まさに時代の動きの速さを肌で感じる会になりました。(久保健二)

「レディス会」参加者募集

第14回在京白聖レディス会
6月23日(土) 開催

第14回「在京白聖レディス会」を次の通り開催します。多数のご参加をお待ちしています。

開催概要

日時：平成30年6月23日(土)

受付：11:30より

開始：12:00～14:00

場所：Sunmisan 高松本店

中央区銀座6-3-9

(電話03-5568-3300)

アクセス：地下鉄銀座駅 徒歩2分(C2出口)

会費：5千円

※ゲスト未定。詳細は追ってホームページ等で案内いたします。戸来ソウ子(S40卒)

ア・ラ・カルト

●三浦千波さん(S50卒)のカバー絵で、石川啄木の歌集『一握の砂』『悲しき玩具』の文庫判が桜出版から出版されました。美しい装丁の啄木をぜひお楽しみ下さい。



啄木の意図に沿った1頁2首、見開き4首の読みやすい体裁。各1,000円+税。楽天などネットで購入できます。

「歌の祭り」参加者募集

第19回「歌の祭り」

平成30年8月5日(日)開催

「歌の祭り」はジャンルを問わず歌唱を楽しむ趣旨です。50年代卒、60年代卒の皆様もふるつてご応募下さい。

〈開催概要〉

日時：平成30年8月5日(日)

受付開始：11時30分

開演：12時～17時

会場：笹塚「ブルーティ」

music and chinese tea

渋谷区笹塚1-61-8

電話：03-33319-2649

会費：5千円(食事代3800円+飲み物代1200円)

エントリー曲数：一人2曲以内

申し込み先：41年卒 高橋利

宏 174-0064 板橋区



「第18回歌の祭り」(2018年2月11日(日))

中台3-27-1G-801 電話
090-6476-7109

Mail: toshi.takahashi@softbank.jp

締切：2018年6月20日(水)

●第18回「歌の祭り」開催報告

平成30年2月11日(日)、第18回歌の祭りは25名(伴奏者含む)が参加し、盛況のうちに終了。各自新曲を披露し、歌の醍醐味を満喫しました。

「ゴルフ大会」参加者募集

平成30年10月19日(金)

第16回在京白聖会ゴルフ大会

今年はこれまで以上に多くの方が参加しやすいように、セルフ(キャディなし)組も構成し、プレイ代の減額を考えました。多くの会員の皆様の参加をお待ちしております。

日時：平成30年10月19日(金)



「第15回在京白聖会ゴルフ大会」(2017年10月20日)

場所：ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎
募集組数：10組予約済(昨年は25名参加)

※今年はセルフ組とキャディ付組の募集を行います。その他、実施要領はほぼ昨年と同じ。次号会報でもご案内します。

●第15回「ゴルフ大会」結果報告

年次対抗戦優勝は混成チーム(S20卒・鈴木昭久、S36卒・金山文彦、S36卒・間瀬隆男、S50卒・千葉愛一郎)、個人戦優勝は千葉愛一郎さんでした。

平成30年10月10日(水)

岩手県人連合会ゴルフコンペ

岩手県人連合会は、約70の在京ふるさと団体や同窓団体で構成されています。在京白聖会からも参加しています。(活動はホームページをご覧ください)

日時：平成30年10月10日(水)

場所：紫カントリークラブ あやめコース(千葉県 野田市)
募集組数：160名 個人戦、団体戦(団体戦は、4名1組で在京白聖会として何組でも参加可能です)

参加費：1万8000円程度

(プレー費+参加費)

※在京白聖会でもまとめて申し込みますので、参加希望者は戸田純(S48卒)までお問い合わせ下さい。

電話：090-4666-8436

Mail: toda@ken-kan.co.jp

在京白聖メディカルクラブ

第5回総会を開催

H30年3月3日(土)

第5回在京白聖メディカルクラブ総会
2018年3月3日、東京ドームホテルにて

在京白聖メディカルクラブは平成30年3月3日(土)、第5回総会を東京ドームホテルにて開催しました。総会第一部は太田睡眠科学センター長の千葉伸太郎さん(S55卒)が「睡眠時無呼吸症候群に対する治療」NasalCPAP療法の実際」をテーマに講演。第二部は日本における医療連携の実態と課題をテーマに厚生労働省医政局長の武田俊彦さん(S53卒)、慈恵会医科大学患者支援・医療連携センター長の石川智久さん(S56卒)、東京医科歯科大学医療連携支援センター長の泉山肇さん(S58卒)の3名が講演。過去最多の38名が参加し、

総会の後、懇親会で親睦を深めました。総会の詳細は「在京白聖会」サイトで情報を更新していきますのでご確認ください。医療関係業務に携わる在京白聖会会員の皆様の参加をお待ちしております。

(在京白聖メディカルクラブ事務局)

志和成紀(S58卒)

國本 聡(S57卒)

白聖歌会

「白聖歌会の部屋」

いつでも投稿できます

白聖歌会はWEB歌会への投稿をお待ちしております。「在京白聖会」の「白聖歌会の部屋」からアクセスできます。

編集後記

昭和43年(1968)の母校硬式野球部甲子園出場を機に、翌昭和44年設立された在京白聖会は今年、第50回総会を迎えます。同窓会活動は現在どこも新しい時代への対応に苦慮しています。今秋発行予定の「在京白聖会50年史」は、創立半世紀を経てその原点を見つめ直し、新しい息吹をもたらす道標となるでしょう。温故知新は革新の最大の力。今回エッセイを募集しますが(第一面下参照)、在京白聖会のみならずの発展に向け、多くの会員の皆様のご投稿をお待ちしております。(Y)